

第31回防災まちづくり大賞

募集取組

次のいずれかに該当する取組を募集しています。

防災ものづくり

防災関係の施設整備、道路や公園等における防災面での配慮など

防災こころづくり

自主防災活動、防災知識の普及啓発、広報活動など

防災ひとづくり

防災に関わる人材の育成、災害対応能力を高めるための教育訓練、講演、研修など

防災情報

ICTを駆使した災害・防災情報の収集、伝達体制の整備など

防災対策

防火対策を通じて災害や火災に強いまちづくりの推進など

対象団体

- 地方公共団体 ● 消防団・水防団 ● 自主防災組織 ● 少年・幼年消防クラブ ● 女性防火クラブ ● 企業・事業所・商店街 ● 防災士会
 - ボランティア団体・NPO団体 ● 教育機関(小・中学校、高等学校、大学等) ● まちづくり協議会・社会福祉協議会・子育て支援団体・医療機関など
- ※ 上記団体のほか、様々な団体が応募可能です(直接的な営利を目的とするものを除く)。
 ※ 過去に応募したものの受賞に至らなかった場合や、受賞実績がある場合でも、継続または発展させた取組を再度応募することができます。
 ※ コロナ禍などにより一時的に活動が途切れた場合でも応募可能です。御連絡ください。

応募方法

「団体による自薦」と「都道府県を通じた推薦」の2種類があります。

【必要書類】

① 調査票

「防災まちづくり大賞」ホームページ(QRコード参照)からダウンロードの上、取組事例の背景、内容、成果など必要事項をご記入ください。

② 添付資料

- 調査票のほか、応募事例を説明する資料(写真、パンフレット、新聞記事等)
 - 団体・組織を紹介する資料(規約、設置要綱、年間計画、写真等)
- ※ 「目録」の場合は、下記の提出先に電子メールまたは郵送等によりご提出ください。

【応募書類提出先】

株式会社オエムシー内「防災まちづくり大賞」受付事務局 (※ 消防庁委託業務)

防災まちづくり大賞
ホームページ
応募方法



【編集後記】「FIFA ワールドカップと林野火災」

今年は4年に1回のFIFAワールドカップの開催年。6月から7月にかけて熱戦で世界中が沸いた。日本代表チームは、強豪のブラジルに惜しくも敗れた。確実に日本選手の技量は上がってきている。これからも優勝という最高の景色に向けて挑み続けて欲しい。さて、そのワールドカップだが、カナダで発生した林野火災の煙が国境を越え、アメリカ・ニューヨーク郊外のスタジアムにまで届き、現地では決勝戦への影響が心配されているという報道があった。近年、カナダの林野火災は、森林の焼失面積が大きくなっているという。わが国では、令和7年に大船渡をはじめ大規模な林野火災が相次いだ。総務省消防庁では、林野火災注意報・警報を創設し、全国の多くの市町村で運用が始まっている。林野火災の出火原因の多くは人的要因であり、大部分は一人ひとりの注意で防ぐことができる。夏山シーズン、火の扱いには十分注意をし、注意報・警報発令時はルールを守る行動を。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2026年8月号(通巻69号)

■発行日 令和8年8月25日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 緒方 俊則

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号(日本消防会館内)

TEL 03(6280)6904 FAX 03(6205)7851

URL <https://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社